

## 中学校音楽 専門問題例

※問題中の一部の図表につきましては、著作権の問題により公開できません。

**例 1** 次の楽譜を見て、(1)～(7)の問いに答えなさい。

省 略

- (1) この楽曲の作曲者名、作曲者の国籍を書きなさい。また、次の文の(a)～(c)にあてはまる最も適切な語句を書きなさい。

この楽曲の曲名は、冒頭の歌詞から「(a)」と呼ばれている。このように呼ばれる楽曲はたくさんあるが、その中でも、J. S. バッハ作曲「平均律クラヴィーア曲集」より「前奏曲第 1 番」を伴奏にして、作曲家の(b)が歌曲を作曲したものや、P. マスカーニ作曲の歌劇「(c)」の「間奏曲」のメロディーにP. マツォーニが歌詞を付けたものなどがよく演奏されている。

- (2) ①～⑥の伴奏部分の和音を、コードネームで答えなさい。  
(3) この伴奏の右手の奏法を何というか、答えなさい。  
(4) この楽曲の演奏速度に最もふさわしいものはどれか、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。  
ア ♩ = 120      イ ♩ = 80      ウ ♩ = 60      エ ♩ = 40  
(5) この楽曲の調の、①平行調と、②下属調の増 2 度上の調の音階を、それぞれ調号を用いて高音部譜表に全音符で書きなさい。  
ただし、短調の場合は旋律的短音階とすること。  
(6) この楽曲の主音を第 3 音として、①長三和音、②短三和音、③増三和音、④減三和音を、それぞれ臨時記号を用いてアルト譜表に全音符で書きなさい。  
(7) この楽曲の歌の部分の旋律を、B♭ クラリネットで演奏するために、調号を用いて楽譜を書き直しなさい。

(R3年度)

**例 2** 次の 2 つの文を読み、(1)～(3)の問いに答えなさい。

- 中世の時代には教会の礼拝で用いられる音楽が整備され、こうした音楽は教会制度の確立に貢献した教皇の名前にちなんで ( ① ) と呼ばれた。( ① ) は単旋律の音楽で、歌詞は ( ② ) で書かれている。また、(a) 音の高さは示されているが、音の長さについては不明確な古い記譜法が用いられている。もともとは単旋律で歌われていたが、(b) 新しい声部が加えられて歌われるようになり、後の多声音楽の原点となった。  
○日本音楽には横笛の種類が数多くあり、雅楽だけでも、唐楽で用いられる ( ③ ) の他、高麗楽などで用いられる ( ④ )、国風歌舞で用いられる ( ⑤ ) の 3 種類がある。沖縄の組踊では、「ファンソー」という中国の ( ⑥ ) が伝来したとされる横笛が用いられる。

- (1) ( ① ) ～ ( ⑥ ) にあてはまる最も適切な語句を、下のア～セからそれぞれ 1 つ選び、記号で答えなさい。(同じ番号には、同じ語句が入るものとする。)

ア	イタリア語	イ	明笛	ウ	モサラベ聖歌	エ	ラテン語
オ	神楽笛	カ	フランス語	キ	篠笛	ク	グレゴリオ聖歌
ケ	スペイン語	コ	竜笛	サ	ガリア聖歌	シ	アンブロジーオ聖歌
ス	高麗笛	セ	パレストリーナ				

- (2) 下線部(a)の記譜法を何というか、書きなさい。  
 (3) 下線部(b)について、このことを何というか、書きなさい。

(R3年度)

**例 3** 次の(a)～(e)の作曲家について、(1)～(4)の問いに答えなさい。

(a) シューベルト	(b) モーツァルト	(c) チャイコフスキー
(d) 滝 廉太郎	(e) ドビュッシー	

- (1) それぞれの作曲家の代表的な作品を次のア～コから 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア	白鳥の湖	イ	月の光	ウ	赤とんぼ
エ	花	オ	愛の夢	カ	美しい5月に
キ	菩提樹	ク	火の鳥	ケ	カルミナ・ブラーナ
コ	Ave verum corpus				

- (2) (a)が作曲した、3大歌曲集を書きなさい。  
 (3) (d)の作曲で、土井晩翠作詞の楽曲名を書きなさい。  
 (4) (e)に代表される、外界のイメージから喚起される心情を表現するような動きを何主義というか、書きなさい。また、(1)で答えた楽曲が含まれる組曲の名前を書きなさい。

(R2年度)

**例 4** ソプラノリコーダーとアルトリコーダーによる二重奏を創作しなさい。ただし、次の(1)～(10)の条件を満たしていること。

【条件】

- (1) 中学2，3年生が授業の中で演奏できる程度の二重奏とすること。
- (2) へ長調で創作し、調号や記譜等、楽譜が正確であること。
- (3) 上段がソプラノリコーダーパート、下段がアルトリコーダーパートとし、それぞれのリコーダーの音域で創作すること。
- (4) 前半(1～4小節)はソプラノリコーダーが主旋律、後半(5～8小節)はアルトリコーダーが主旋律となるように創作すること。
- (5) 8小節で創作し、二重奏としてのまとまりがあること。
- (6) 一部形式であること。
- (7) 拍子は任意とするが、示すこと。
- (8) 速度記号か速度標語を指定すること。
- (9) 強弱記号(変化を表す記号も可)を示すこと。
- (10) それぞれのパートにアーティキュレーションを2か所以上つけること。

(R2年度)

**例 5** 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 変ロを第5音として、①長三和音、②短三和音、③減三和音、④増三和音を臨時記号を用いて低音部譜表にそれぞれ書きなさい。
- (2) 嬰へ長調の①主要三和音、②属七の和音を、調号を用いずにアルト譜表に書きなさい。

(R元年度)

**例 6** 中学校学習指導要領「第2章 各教科」「第5節 音楽」について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は「第2 各学年の目標及び内容」〔第1学年〕「2 内容」の一部である。  
(a)～(i)にあてはまる語句を書きなさい。

A 表現

- (3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ (a)を生かした表現で(b)をつくるために必要な、課題や(c)に沿った(d)などの技能を身に付けること。

B 鑑賞

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる(e)を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(イ)までについて(f)に考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する評価と(g)

(イ) 生活や社会における音楽の(h)

(イ) 音楽表現の(i)

- (2) 次の文は「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。(a)～(f)にあてはまる語句を書きなさい。

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

イ 音楽によって(a)自己のイメージや感情、音楽表現に対する(b)、音楽に対する評価などを伝え合い(c)など、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫すること。



- (6) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導に当たっては、(d)との関係、姿勢や(e)についても配慮するとともに、適宜、(f)を用いること。

(R元年度)

中学校音楽 正答例

問題番号			正 答 例
例 1	(1)	作曲者	フランツ・シューベルト
		国籍	オーストリア
		(a)	アヴェ マリア
		(b)	シャルル・グノー
		(c)	カヴァレリア・ルスティカーナ
	(2)	①	A♭
		②	Fm6
		③	E♭7
		④	Fm
		⑤	B♭m/D♭
		⑥	E♭7
	(3)	ノンレガート（奏法）	
	(4)	エ	
	(5)	①	
		②	
	(6)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>①</span> <span>②</span> <span>③</span> <span>④</span> </div> 	
	(7)	<p>Sehr langsam</p> 	

問題番号			正 答 例
例 2	(1)	①	ク
		②	エ
		③	コ
		④	ス
		⑤	オ
		⑥	イ
	(2)	ネウマ譜	
	(3)	オルガヌム	
例 3	(1)	(a)	キ
		(b)	コ
		(c)	ア
		(d)	エ
		(e)	イ
	(2)	白鳥の歌	
		美しい水車屋の娘	
		冬の旅	
	(3)	荒城の月	
	(4)	主 義	印象 (主義)
		組 曲 名	ベルガマスク (組曲)
例 4	省 略		

問題番号		正 答 例	
例 5	(1)		
	(2)		
例 6	(1)	(a)	創意工夫
		(b)	旋律や音楽
		(c)	条件
		(d)	音の選択や組合せ
		(e)	知識
		(f)	自分なり
		(g)	その根拠
		(h)	意味や役割
		(i)	共通性や固有性
	(2)	(a)	喚起された
		(b)	思いや意図
		(c)	共感する
		(d)	言葉と音楽
		(e)	身体の使い方
		(f)	くちしょうが 口 唱 歌